

【資料 I】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名 ≪国語(国語)≫

※詳細については、資料Ⅱ(国語-4～国語-10)を参照。

発行者の略称	東書	書名	新編 新しい国語
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、話したり書いたりするときや、他教科の学習で使える言葉が『言葉の広場』に掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の資質・能力を育成するための学習活動が『「わたし」の説明文を書こう』など、各単元に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、生き方や社会について書かれた複数の分野の図書が『本は友達』に掲載されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> 『思いやる力』の「生命の尊厳」について、命の尊さや互いに助け合うことを扱った『サーカスのライオン』などが掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> 『たくましく生きる力』の「情報化」について、情報を把握する方法について扱った『インターネットの投稿を読み比べよう』などが掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> 『社会とかかわる力』の「環境教育」について、自然と人間との関係を扱った『「永遠のごみ」プラスチック』などが掲載されている。</p>		
3 内容と構成	<p>≪教科・種目共通の観点≫</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、『見通す』『取り組む』『振り返る』という流れで単元の見通しを示した『学習の流れ』が掲載されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、総合的な学習の時間や社会科などに関連した『発信しよう、私たちのSDGs』などが掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、言葉を選び、適切な言語表現について考えるなどの学習活動が『言葉』に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、昔話、古典、俳句、短歌などを扱った『伝えたい言葉』が掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、体験したことを目的や相手を意識して書く学習活動が、『お願いやお礼の手紙を書こう』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、幼児期の体験をイラストに表した『きこえるよ』や、中学校の学習に繋がる『「言葉の力」をふり返ろう そしてつなごう、中学校へ』などが掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、情報の「収集」「整理」「比較」「発信」などについての学習活動が『未来への情報活用』などに設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、単元の始めに、学習活動を進めるための見通しやヒントなどが、イラストの吹き出しに掲載されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、『メモを取りながら話を聞こう』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 各領域の資質・能力を育成することについて、伝えたいことを選んで自分の宝物を紹介する学習活動が『たからものをしょうかいしよう』に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 語彙を豊かにすることについて、話したり書いたりする時に使う言葉や使い方の例文を示した『言葉の広場』が掲載されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 読書活動の充実を図ることについて、教材に関連する作家や内容の本などを紹介した『こんな本もいっしょに』が掲載されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 巻頭詩、『目次』、『話す・聞く』『書く』『読む』『情報のとびら』『言葉相談室』『言葉』などと、『付録』で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はB5判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『全ての児童の色覚特性に適応するようにデザインしています。』と表記されている。</p>		

【資料 I】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名 ≪ 国語 (国語) ≫

※詳細については、資料 II (国語-4～国語-10)を参照。

発行者の略称	教出	書名	ひろがる言葉
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、学習で使う言葉や関連する言葉などを学習する『言葉の木』が掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の資質・能力を育成するための学習活動が『クラスの「生き物ブック」』など、各単元に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、生き方や社会について書かれた複数の分野の図書が『〇年生で読みたい本』に掲載されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> 「思いやる力」の「生命の尊厳」について、命の尊さや思いやりについて扱った『わすれられないおくりもの』などが掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> 「たくましく生きる力」の「情報化」について、情報と情報との関係を読み取ることを扱った『アイス暑いほどおいしい?—グラフの読み取り』などが掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> 「社会とかかわる力」の「環境教育」について、自然保護を扱った『世界遺産 白神山地からの提言—意見文を書こう』などが掲載されている。</p>
3 内容と構成			<p>≪ 教科・種目共通の観点 ≫</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、『たしかめよう』『くわしくよう』『まとめよう』『つたえあおう』という単元の流れを示した『見通しをもとう』が掲載されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、総合的な学習の時間や社会科などに関連した『パネルディスカッション—地域の防災』などが掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、読点の適切な使い方について考えるなどの学習活動が『言葉の広場』に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、昔話、古典、俳句、短歌などを扱った『言葉の文化』が掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、見学等の体験を通して収集した情報を文章に書く学習活動が『リーフレットでほうこく』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、幼児期の経験と小学校入学期をイラストに表した『なかよしのみち』、中学校の学習に繋がる『出会った言葉をふり返ろう』などが掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、集めた情報をどのように活用するかについて考える学習活動が『十二歳の主張』などに設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、学習活動を進めるための要点やヒントなどが、イラストの吹き出しに掲載されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、『じこしょうかいビンゴゲーム』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>≪ 各教科・種目別の観点 ≫ (それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 各領域の資質・能力を育成することについて、みんなでやりたい遊びについて話し合う学習活動が『「クラスお楽しみ会」をひらこう』に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 語彙を豊かにすることについて、単元で学んだ言葉と関連のある言葉を示した『言葉を増やそう』が掲載されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 読書活動の充実を図ることについて、教材に関連する本やそのあらすじなどを紹介した『本を読もう』が掲載されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 巻頭文、『目次』、『話す・聞く』『書く』『読む』『言葉の文化』『漢字の広場』『読書の広場』などと、『付録』で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はB5判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすさ・読みやすさに配慮したオリジナルフォントを使用しています。』と表記されている。</p>

【資料 I】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名 ≪国語(国語)≫

※詳細については、資料Ⅱ(国語-4～国語-10)を参照。

発行者の略称	光村	書名	国語 創造
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、学習の中で話したり書いたりするときに役立つ言葉を扱った『言葉の宝箱』が掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の資質・能力を育成するための学習活動が『たから島のぼうけん』など、各単元に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、生き方や社会について書かれた複数の分野の図書が『本の世界を広げよう』に掲載されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「生命の尊厳」について、命の尊厳や平和への思いについて扱った『ちいちゃんのかげおくり』などが掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「情報化」について、身の回りにある情報の読み方を扱った『インターネットでニュースを読もう』などが掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「環境教育」について、自然の仕組みを扱った『自然環境を守るために』などが掲載されている。</p>
3 内容と構成			<p>≪教科・種目共通の観点≫</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、『とらえよう』『ふかめよう』『まとめよう』『ひろげよう』という単元の流れを示した『見通しをもとう』が掲載されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、総合的な学習の時間や社会科などに関連した『未来につなぐ工芸品』などが掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、言葉と言葉の繋がりについて考えるなどの学習活動が『言葉』に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、昔話、古典、俳句、短歌などを扱った『古典の世界』などが掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、体験を通して、お世話になった人へお礼の手紙を書く学習活動が『お礼の気持ちを伝えよう』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、幼児期の体験をイラストに表した『はるがきた』、中学校の学習に繋がる『卒業するみなさんへ』などが掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、「話す・聞く」「書く」「読む」と関連した情報を活用する学習活動が『情報と情報をつなげて伝えるとき』などに設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、学習活動を進める中で、参考となる考えの例やヒントなどが、イラストの吹き出しに掲載されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、『おすすめの一さつを決めよう』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 各領域の資質・能力を育成することについて、友だちの相談を聞いて話し合う学習活動が『そうだんにのってください』に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 語彙を豊かにすることについて、話したり書いたりする時に使う言葉や関連のある言葉をまとめた『言葉の宝箱』が掲載されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 読書活動の充実を図ることについて、教材を書いた作者の他の作品や関連のある本などを紹介した『この本、読もう』が掲載されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 巻頭詩、『目次』、『話す・聞く』『書く』『読む』『言葉』『情報』『本は友達』などと、『付録』で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はB5判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『全てのページについて、次の観点から、専門家による校閲を行っています。カラーユニバーサルデザイン(後略)』『児童の学習負担を軽減するよう、本文には書き文字と差異の生じない書体を使用しています。』と表記されている。</p>

【資料Ⅱ】

教科種目名≪国語(国語)≫

1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連

① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮	
東書	「知識・技能」の習得について、話したり書いたりするときや、他教科の学習で使える言葉が『言葉の広場』に掲載されている。第2学年では『学校にあるものの名前』、第4学年では『引用するとき使う言葉』、第6学年では『原因と結果を表す言葉』などが掲載されている。
教出	「知識・技能」の習得について、学習で使う言葉や関連する言葉などを学習する『言葉の木』が掲載されている。第2学年では『ほんたいのいみの言葉』、第4学年では『気持ちの木』、第6学年では『慣用句の木』などが掲載されている。
光村	「知識・技能」の習得について、学習の中で話したり書いたりするときに役立つ言葉を扱った『言葉の宝箱』が掲載されている。第2学年では『ものようすをあらわすことば』、第4学年では『気持ちを表す言葉』、第6学年では『事物を表す言葉』などが掲載されている。
② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮	
東書	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の資質・能力を育成するための学習活動が各単元に設定されている。第1学年では、「話すこと・聞くこと」の『小学校のことをしょうかいしよう』に「出来事の順に話す」、第3学年では、「書くこと」の『「わたし」の説明文を書こう』に「中心を決めて、文章の組み立てを考える」、第5学年では「読むこと」の『インターネットは冒険だ』に「要旨をまとめる」などの学習活動が設定されている。
教出	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の資質・能力を育成するための学習活動が各単元に設定されている。第1学年では、「話すこと・聞くこと」の『はじめてした学校のこと』に「話を聞きに行く」、第3学年では、「書くこと」の『クラスの「生き物ブック」』に「組み立て表を作る」、第5学年では「読むこと」の『いつか、大切なところ』に「登場人物の心情をまとめる」などの学習活動が設定されている。
光村	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の資質・能力を育成するための学習活動が各単元に設定されている。第1学年では、「話すこと・聞くこと」の『これは、なんでしょう』に「ふたりで考える」、第3学年では、「書くこと」の『たから島のぼうけん』に「書き方を工夫する」、第5学年では「読むこと」の『やなせたかしーアンパンマンの勇氣』に「生き方を考える」などの学習活動が掲載されている。
③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	
東書	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、生き方や社会について書かれた複数の分野の図書が『本は友達』に掲載されている。第2学年では『スーホの白い馬』、第4学年では『エンザロ村のかまど』、第6学年では『六千人の命を救え！外交官・杉原千畝』などが掲載されている。
教出	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、生き方や社会について書かれた複数の分野の図書が『〇年生で読みたい本』に掲載されている。第2学年では『へいわって すてきだね』、第4学年では『災害救助犬レイラ』、第6学年では『汽笛』などが掲載されている。
光村	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、生き方や社会について書かれた複数の分野の図書が『本の世界を広げよう』に掲載されている。第2学年では『犬のハナコのおいしゃさん』、第4学年では『手話でつながる世界2 くらべよう！世界の手話』、第6学年では『希望、きこえる？ルワンダのラジオに子どもの歌が流れた日』などが掲載されている。

2 かながわ教育ビジョンとの関連

④ [思いやる力]他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる。	
(共生、豊かな心、いのちの大切さ、生命の尊厳、人権教育、道徳教育 など)	
東書	[思いやる力]の「生命の尊厳」について、命の尊さや互いに助け合うことを扱った教材が掲載されている。第1学年では『子どもを まもる どうぶつたち』、第3学年では『サーカスのライオン』、第5学年では『大造じいさんとガン』などの教材が掲載されている。
教出	[思いやる力]の「生命の尊厳」について、命の尊さや思いやりについて扱った教材が掲載されている。第1学年では『お手がみ』、第3学年では『わすれられないおくりもの』、第5学年では『大造じいさんとガン』などの教材が掲載されている。
光村	[思いやる力]の「生命の尊厳」について、命の尊さや平和への思いについて扱った教材が掲載されている。第1学年では『どうぶつの子ちゃん』、第3学年では『ちいちゃんのかげおくり』、第5学年では『たずねびと』などの教材が掲載されている。
⑤ [たくましく生きる力]自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる。	
(公共心、規範意識、責任感、国際化、情報化、食育、健康教育、コミュニケーション能力 など)	
東書	[たくましく生きる力]の「情報化」について、情報をどのように把握するかについて扱った教材が掲載されている。第2学年では『本でしらべる』、第4学年では『広告を読みくらべよう』、第6学年では『インターネットの投稿を読み比べよう』などが掲載されている。
教出	[たくましく生きる力]の「情報化」について、情報と情報との関係を読み取ることを扱った教材が掲載されている。第2学年では『この間に何があった?』、第4学年では『ウミガメの命をつなぐ』、第6学年では『アイスは暑いほどおいしい? グラフの読み取り』などが掲載されている。
光村	[たくましく生きる力]の「情報化」について、身の回りにある情報の読み方を扱った教材が掲載されている。第2学年では『みの回りのものをよもう』、第4学年では『パンフレットを読もう』、第6学年では『インターネットでニュースを読もう』などが掲載されている。
⑥ [社会とかかわる力]社会とのかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献する力を育てる。(生きること、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動 など)	
(生きること、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動 など)	
東書	[社会とかかわる力]の「環境教育」について、自然と人間との関係を扱った教材が掲載されている。第1学年では『子どもを まもる どうぶつたち』、第3学年では『カミツキガメは悪者か』、第6学年では『「永遠のごみ」プラスチック』などが掲載されている。
教出	[社会とかかわる力]の「環境教育」について、自然保護を扱った教材が掲載されている。第1学年では『うみへのながいたび』、第3学年では『めだか』、第5学年では『世界遺産 白神山地からの提言—意見文を書こう』などが掲載されている。
光村	[社会とかかわる力]の「環境教育」について、自然の仕組みを扱った教材が掲載されている。第1学年では『どうぶつの子ちゃん』、第3学年では『ありの行列』、第5学年では『自然環境を守るために』などが掲載されている。

3 内容と構成

- 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑦ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮	
東書	主体的・対話的で深い学びについて、『見通す』『取り組む』『振り返る』という流れで単元の見通しを示した『学習の流れ』が掲載されている。第4学年『走れ』の単元では、『取り組む』に「たしかめる」「考える」「話し合う」学習活動が設定されている。
教出	主体的・対話的で深い学びについて、『たしかめよう』『くわしくよもう』『まとめよう』『つたえあおう』という単元の流れを示した『見通しをもとう』が掲載されている。第4学年『一つの花』では、『くわしくよもう』に「考える」「話し合う」学習活動が設定されている。
光村	主体的・対話的で深い学びについて、『とらえよう』『ふかめよう』『まとめよう』『ひろげよう』という単元の流れを示した『見通しをもとう』が掲載されている。第4学年『スワンレイクのほとり』では、「考える」「伝え合う」学習活動が設定されている。
⑧ 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮	
(教科等横断的に学習を展開する上での工夫や配慮、小学校6年間や義務教育学校9年間の学びのつながりや系統性、基礎的な学習と発展的な学習との明確な区分けなど、生徒が学習を進めたり教員が指導計画を立てたりしやすいような工夫や配慮など)	
東書	カリキュラム・マネジメントについて、総合的な学習の時間や理科、社会科など他教科等と関連した教材や日常生活に関連した教材が掲載されている。第2学年では、生活科に関連した『かんさつしたことを書こう』、第4学年では、理科や総合的な学習の時間に関連した『ヤドカリとイソギンチャク』、第6学年では、社会科や総合的な学習の時間に関連した『発信しよう、私たちのSDGs』などが掲載されている。
教出	カリキュラム・マネジメントについて、総合的な学習の時間や理科、社会科など他教科等と関連した教材や日常生活に関連した教材が掲載されている。第2学年では、生活科に関連した『おもしろいもの、見つけたよ』、第4学年では、総合的な学習の時間や理科に関連した『ぞうの重さを量る』、第6学年では、総合的な学習の時間や社会科に関連した『パネルディスカッション—地域の防災』などが掲載されている。
光村	カリキュラム・マネジメントについて、総合的な学習の時間や理科、社会科など他教科等と関連した教材や日常生活に関連した教材が掲載されている。第2学年では、生活科に関連した『かんさつ名人になろう』、第4学年では、総合的な学習の時間や社会科に関連した『未来につなぐ工芸品』、第6学年では、社会科や理科に関連した『公共図書館を活用しよう』などが掲載されている。

- 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑨ 言語能力の確実な育成	
東書	言語能力の育成について、言葉を選び、適切な言語表現について考えるなどの学習活動が『言葉』に設定されている。第2学年では『ことばあそびを 楽しもう』、第4学年では『言葉の意味と使い方』、第6学年では『表現をくふうする』などに設定されている。
教出	言語能力の育成について、読点の適切な使い方について考えるなどの学習活動が『言葉の広場』に設定されている。第2学年では『主語とじゅつ語』、第4学年では『点()を打つところ』、第6学年では『なぜ、わかり合えなかったのかな?』などに設定されている。
光村	言語能力の育成について、言葉と言葉の繋がりについて考えるなどの学習活動が『言葉』に設定されている。第2学年では『主語と述語に気をつけよう』、第4学年では『つながりに気をつけよう』、第6学年では『使える言葉にするために』などに設定されている。
⑩ 伝統や文化に関する教育の充実	
東書	伝統や文化に関する教育の充実について、昔話、古典、俳句、短歌などを扱った『伝えたい言葉』が掲載されている。第3学年では、松尾芭蕉などの句を扱った『俳句に親しもう』、第5学年では古典『竹取物語』などを扱った『いにしへの言葉に親しもう』などが掲載されている。
教出	伝統や文化に関する教育の充実について、昔話、古典、俳句、短歌などを扱った『言葉の文化』が掲載されている。第3学年では松尾芭蕉などの句を扱った『俳句に親しむ』、第5学年では古典『竹取物語』などを扱った『「古典」を楽しむ』などが掲載されている。
光村	伝統や文化に関する教育の充実について、昔話、古典、俳句、短歌などを扱った『古典の世界』などが掲載されている。第3学年では松尾芭蕉などの句を扱った『俳句を楽しもう』、第5学年では古典『竹取物語』などを扱った『古典の世界』などが掲載されている。

⑪ 体験活動の充実	
東書	体験活動の充実について、体験したことを目的や相手を意識して書く学習活動が、第4学年『お願いやお礼の手紙を書こう』に設定されている。また、町で見つけたことについて、組み立てを考えて話す学習活動が、第2学年『町で見つけたことを話そう』に設定されている。
教出	体験活動の充実について、見学等の体験を通して収集した情報を文章に書く学習活動が、第4学年『リーフレットでほうこく』に設定されている。また、町探検してわかったことについて、組み立てを考えて話す学習活動が、第2学年『町の「すてき」をつたえます』に設定されている。
光村	体験活動の充実について、体験を通して、お世話になった人へお礼の手紙を書く学習活動が、第4学年『お礼の気持ちを伝えよう』に設定されている。また、行事等で体験したことについて、組み立てを考えて話す学習活動が、第2学年『楽しかったよ、二年生』に設定されている。
⑫ 学校段階間の円滑な接続	
東書	学校段階間の円滑な接続について、第1学年では、幼児期での体験的な遊びをイラストに表した『きこえるよ』が掲載されている。また、第6学年では、小学校での学習の成果を振り返り、中学校の学習に繋がる『「言葉の力」をふり返ろう そしてつなごう、中学校へ』などが掲載されている。
教出	学校段階間の円滑な接続について、第1学年では、幼児期での体験や小学校の入学期をイラストに表した『なかよしの みち』が掲載されている。また、第6学年では、小学校の学習事項をまとめ、中学校の学習に繋がる『出会った言葉をふり返ろう』などが掲載されている。
光村	学校段階間の円滑な接続について、第1学年では、幼児期での体験的な遊びや遊びの経験をイラストに表した『はるが きた』が掲載されている。また、第6学年では、小学校での学習を振り返り、まとめ、中学校の学習に繋がる『卒業するみなさんへ』などが掲載されている。
⑬ 情報活用能力の育成	
東書	情報活用能力の育成について、情報の「収集」「整理」「比較」「発信」などについての学習活動が『情報のとびら』に設定されている。第2学年では『じゅんじょ』、第4学年では『観点を立ててくらべる』、第6学年では『未来への情報活用』などに設定されている。
教出	情報活用能力の育成について、集めた情報をどのように活用するかについて考える学習活動が設定されている。第2学年では『町の「すてき」をつたえます』、第4学年では『クラスの「不思議ずかん」を作ろう』、第6学年では『十二歳の主張』などに設定されている。
光村	情報活用能力の育成について、「話す・聞く」「書く」「読む」と関連した情報を活用する学習活動が『情報』に設定されている。第2学年では『メモをとる とき』、第4学年では『要約するとき』、第6学年では『情報と情報をつなげて伝えるとき』などに設定されている。
⑭ 児童の学習上の困難さに応じた工夫	
東書	児童の学習上の困難さへの対応について、単元の始めに、学習活動を進めるための見通しやヒントなどが、イラストの吹き出しに掲載されている。第3学年『クラスの思い出作りのために』では、単元の始めに単元全体を見通し、学習の始めで困らないヒントがイラストの吹き出しに掲載されている。
教出	児童の学習上の困難さへの対応について、学習活動を進めるための要点やヒントなどが、イラストの吹き出しに掲載されている。第3学年『強く心にのこっていることを』では、分かりやすい作文にするための推敲の学習で、修正する要点や修正点のヒントがイラストの吹き出しに掲載されている。
光村	児童の学習上の困難さへの対応について、学習活動を進める中で、参考となる考えの例やヒントなどが、イラストの吹き出しに掲載されている。第3学年『気持ちをこめて、「来てください」』では、手紙を書く相手を決めて、伝える内容を考える時のヒントとなる具体例がイラストの吹き出しに掲載されている。

⑮ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	
東書	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第3学年『メモを取りながら話を聞こう』や第6学年『三字以上の熟語の構成』などに示され、動画、言葉に関する練習問題などにつながる二次元コードが掲載されている。
教出	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第3学年『じこしょうかいビンゴゲーム』や第6学年『あなたは作家』などに示され、学習の手順などを示した動画、文章を書くためのモデル文などにつながる二次元コードが掲載されている。
光村	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第3学年『おすすめの一さつを決めよう』や第6学年『課題の見つけ方、調べ方』などに示され、話し合いの動画、自分が知りたいことを調べる方法などにつながる二次元コードが掲載されている。
⑯ 学習指導要領解説に示された言語活動例をもとに各領域(話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと)の資質・能力を育成するための題材として工夫や配慮がなされているか。	
東書	各領域の資質・能力を育成することについて、「話すこと・聞くこと」では、伝えたいことを選んで自分の宝物を紹介する学習活動が、第2学年『たからものをしょうかいしよう』、「書くこと」では、相手や目的を考えて手紙を書く学習活動が、第4学年『お願いやお礼の手紙を書こう』、「読むこと」では、インターネットの投稿を読み比べて説得の工夫を考える学習活動が、第6学年『インターネットの投稿を読み比べよう』に設定されている。
教出	各領域の資質・能力を育成することについて、「話すこと・聞くこと」では、みんなでやりたい遊びについて話し合う学習活動が第2学年『「クラスお楽しみ会」をひらこう』、「書くこと」では、不思議に思ったことを調べてまとめる学習活動が、第4学年『クラスの「不思議ずかん」を作ろう』、「読むこと」では、文章と資料を関連付けて読む学習活動が、第6学年『雪は新しいエネルギー—未来へつなぐエネルギー社会』に設定されている。
光村	各領域の資質・能力を育成することについて、「話すこと・聞くこと」では、友だちの相談を聞いて話し合う学習活動が第2学年『そうだんにのってください』、「書くこと」では、お礼の気持ちが伝わる手紙を書く学習活動が、第4学年『お礼の気持ちを伝えよう』、「読むこと」では、インターネットのニュースサイトを読む方法を知る学習活動が、第6学年『インターネットでニュースを読もう』に設定されている。
⑰ 語彙を豊かにするための題材として工夫や配慮がなされているか。	
東書	語彙を豊かにすることについて、話したり書いたりする時に使う言葉や使い方の例文を示した『言葉の広場』が掲載されている。第1学年では『学校』、第3学年では『思いや考えを表す言葉』、第5学年では『例を示すときに使う言葉』などが掲載されている。
教出	語彙を豊かにすることについて、単元で学んだ言葉と関連のある言葉を示した『言葉を増やそう』が掲載されている。第1学年では『お手がみ』、第3学年では『わすれられないおくりもの』、第5学年では『まんがの方法』などに関連のある言葉が掲載されている。
光村	語彙を豊かにすることについて、話したり書いたりする時に使う言葉や関連のある言葉をまとめた『言葉の宝箱』が掲載されている。第1学年では『気もちを あらわす 言葉』、第3学年では『人物を表す言葉』、第5学年では『事物を表す言葉』などが掲載されている。
⑱ 読書活動の充実を図るための題材として工夫や配慮がなされているか。	
東書	読書活動の充実を図ることについて、教材に関連する作家や内容の本などを紹介した『こんな本もいっしょに』が掲載されている。第3学年『モチモチの木』では、同じ作者が書いた他の作品や、関連のある本が掲載されている。
教出	読書活動の充実を図ることについて、教材に関連する本やそのあらすじなどを紹介した『本を読もう』が掲載されている。第3学年『白い花びら』では、同じ作者が書いた他の作品や、関連のある本が掲載されている。
光村	読書活動の充実を図ることについて、教材を書いた作者の他の作品や関連のある本などを紹介した『この本、読もう』が掲載されている。第3学年『三年とうげ』では、語り伝えられてきた世界の民話や昔話が掲載されている。

4 分量・装丁・表記等

⑱ 各内容の分量とその配分は適切であるか。	
東書	巻頭詩、『目次』、『話す・聞く』『書く』『読む』『情報のとびら』『言葉相談室』『言葉』などと、『付録』で構成されている。
教出	巻頭文、『目次』、『話す・聞く』『書く』『読む』『言葉の文化』『漢字の広場』『読書の広場』などと、『付録』で構成されている。
光村	巻頭詩、『目次』、『話す・聞く』『書く』『読む』『言葉』『情報』『本は友達』などと、『付録』で構成されている。
⑳ 体裁がよく、児童が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	判型はB5判が採用されている。
教出	判型はB5判が採用されている。
光村	判型はB5判が採用されている。
㉑ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、児童が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『全ての児童の色覚特性に適応するようにデザインしています。』と表記されている。
教出	『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすさ・読みやすさに配慮したオリジナルフォントを使用しています。』と表記されている。
光村	『全てのページについて、次の観点から、専門家による校閲を行っています。カラーユニバーサルデザイン（後略）』『児童の学習負担を軽減するよう、本文には書き文字と差異の生じない書体を使用しています。』と表記されている。

【参考】

① 題材に関連した神奈川県に関する主な文章や写真・グラフ等の掲載

東書	第5学年 68ページ 107ページ 第6学年 105ページ	『いにしえの言葉に親しもう』『平家物語』 『本は友達 五年生の本だな』『タマゾン川』（多摩川） 『本は友達 六年生の本だな』『葛飾北斎』
教出	第5学年 下24ページ 第6学年 下128ページ 下143ページ	『「古典」を楽しむ』『平家物語』 『薫風』 湯河原 『6年生で読みたい本④』『葛飾北斎』
光村	第4学年 下47ページ 第5学年 73ページ	『未来につなぐ工芸品』「箱根寄木細工（神奈川県）」 『古典の世界（一）』『平家物語』

※ 二次元コードのリンク先にある、題材に関連した神奈川県に関する文章や写真・グラフ等は掲載していません

② 一冊ごとの重量 (g)

発行者名	総冊数	1年上	1年下	2年上	2年下	3年上	3年下	4年上	4年下	5年上	5年下	6年上	6年下
東書	10	267	304	279	294	293	302	293	281	494		498	
教出	12	268	323	301	308	300	294	322	314	294	335	293	307
光村	10	237	242	283	289	284	289	277	305	493		520	